

2024年11月11日

各位

会社名 株式会社メタプラネット  
代表者名 代表取締役社長 サイモン・ゲロヴィッチ  
(スタンダード市場 コード: 3350)  
問合せ先 IR部長 中川 美貴  
電話番号 03-6772-3696

## 2024年12月13日開催予定の臨時株主総会の議案について

当社は、2024年11月8日付「臨時株主総会の開催日時及び付議内容の確定並びに定款の一部変更、資本金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年12月13日に臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）を開催する旨をお知らせいたしました。総会の議案について株主の皆様よりご質問を頂戴しておりますので、下記の通りご説明（Q&A）を作成いたしました。後日送付される本臨時株主総会の招集通知とともに、議決権を行使される際のご参考にさせていただきますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 定款の一部変更について

| Question                        | Answer  |
|---------------------------------|---|
| Q1-1<br>なぜ発行可能株式総数を増やすのか？       | A1-1<br>当社の2024年11月8日現在における発行済株式総数は36,268,334株である一方、発行可能株式総数は65,000,000株であり、すでに半分以上の発行枠を使っております。今後の当社の資本政策を機動的かつ柔軟に実施していくために、この機会に発行可能株式総数を増やすことといたしました。なお、当社はビットコイン戦略の採用を表明し、今後のビットコインの購入については戦略的に資本や融資を活用していくことをお知らせしておりますが、当該発行可能株式総数の増加もその戦略の線上にあります。 |
| Q1-2<br>新しい発行可能株式総数はどのように決めたのか？ | A1-2<br>増加できる発行可能株式総数は、発行済株式数の4倍以内と法令にて決められております。当社の2024年11月8日現在における発行済株式総数36,268,334株に対して4倍の株数は145,073,336株でありますので、その近似値である145,000,000株といたしました。  |
| Q1-3<br>新株発行をするのか？              | A1-3<br>今回の発行可能株式総数の増加は、将来の資金調達に柔軟に対応していくための準備です。当社は現在、追加のビットコインを蓄積し株主価値を向上させるために、最も増価的な手段を積極的に検討しております。新株の発行計画が取締役会で決定され次第、速やかに株主の皆様にお知らせいたします。このようにして、当社は長期的な成長目標を迅速かつ戦略的に達成するための基盤を整えてまいります。   |

2. 資本金の額の減少及び剰余金の処分について

| Question                                | Answer  |
|---|---|
| <p>Q 2-1<br/>資本金の額の減少とはどういう仕組みなのか？</p>  | <p>A 2-1<br/>資本金の額の減少はいわゆる減資というものです。減資はあくまでも帳簿上の動きのみが生じ、実際に発行済株式の数が減少することはありません。資本金に計上されている金額の一部または全部を、資本剰余金に振り替えることで、資本金を減少させることができます。資本金と資本剰余金はともに貸借対照表内の株主資本の部に属する項目であり、振り替えることによる株主資本の部の総額への影響はありません。当社の2024年6月30日時点での株主資本合計金額は約20億9233万円ですが、この金額への影響もありません。また、この内部の会計上の振替えは当社の業務運営の安定性や全体的な財務の健全性には影響を与えず、会社の流動性、キャッシュフロー、日々の業務には何ら影響を与えません。</p> |
| <p>Q 2-2<br/>なぜ資本金を1円に減少させるのか？</p>      | <p>A 2-2<br/>当社の2024年11月8日現在の資本金は5,754,525,824円であり、2024年9月から10月にかけて無償割当をした新株予約権が行使された結果多額の金額となりました。現在の我が国の税制では、資本金が1億円以下の会社は様々な税制の恩恵を受けることができます。当社はこれまでも過去数年に渡って毎年資本金を1円に減少させてまいりました。本年度も、資本金を減少させることにより、株主価値を守るとともに、より多くの資金をビットコインの購入をはじめとする戦略的投資に活用できることとなります。資本金を1円まで落とすことにより、予定していない資本増加が発生したとしても、資本金が1億円以内に収まるだけの枠が確保できることとなります。</p>             |
| <p>Q 2-3<br/>資本金が1円になれば、株価も1円になるのか？</p> | <p>A 2-3<br/>資本金は貸借対照表内の株主資本の部の一項目にすぎず、また今回の資本金の減少はその減少分を資本剰余金に振り替える帳簿上の処理のみのため、資本金を1円にしたとしても株式価値が1円になるわけではありません。株価については日々の市場での売買に基づき形成されるため、当社からは特定の株価を申し上げることはできませんが、今回の資本金の減少は株主価値の保全につながるものとして考えております。</p>  |
| <p>Q 2-4<br/>欠損補填とはどういうものなのか？</p>       | <p>A 2-4<br/>欠損補填とは、資本剰余金を利益剰余金に振り替えることで、貸借対照表に計上されている欠損金と相殺することです。この取引も株主資本の部の項目における処理のため、株主資本の部の全体の金額には影響はありません。過去から累積している欠損金を消すことで、将来的には配当をはじめ様々な企業決定が柔軟に</p>  |

|             |
|-------------|
| できるようになります。 |
|-------------|

### 3. 総括

今回の議案は、当社が今後も柔軟な資本構成を維持しつつ、ビットコイン購入を通じた成長戦略の実行を支えるものです。株主価値の最大化を念頭に置いたものであり、長期的な成長基盤の強化を目指しています。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上